

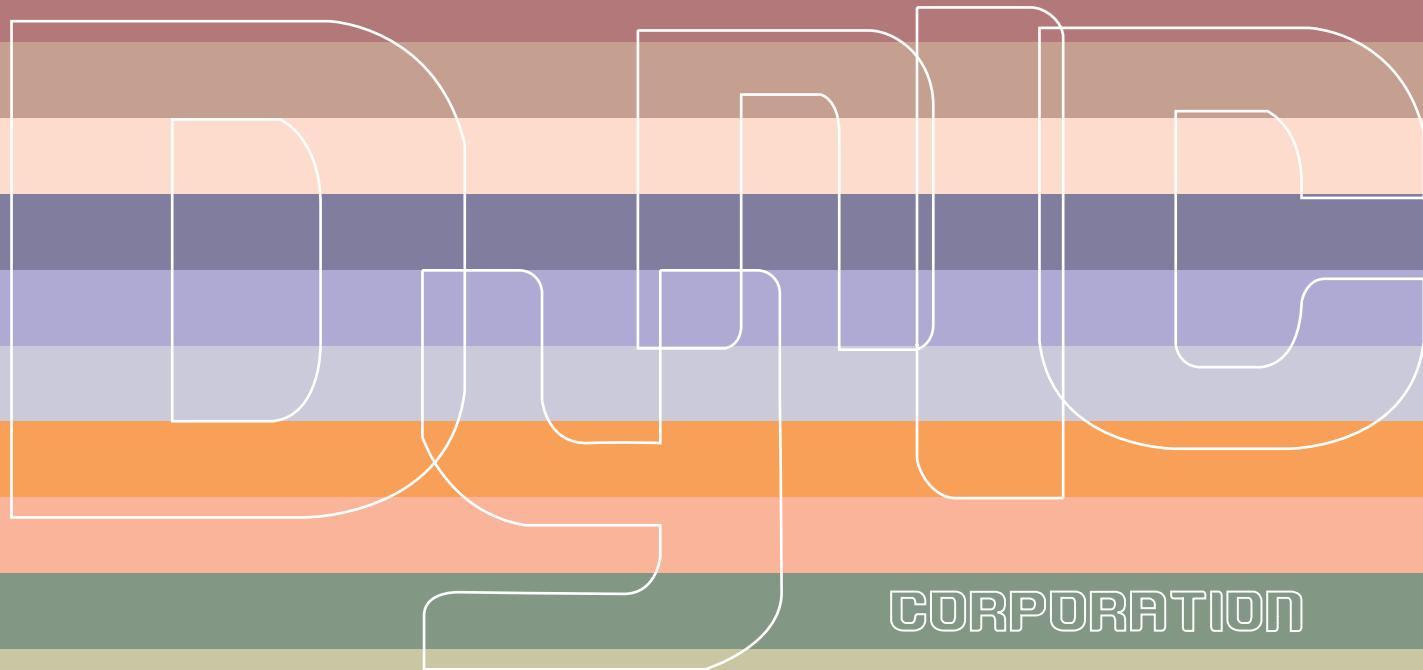
(証券コード 3551)



おかげさまで **100<sup>th</sup>** 周年

# 第157期中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日





株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第157期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

第157期前半期の業績につきましては、主力の印字用熱転写リボン、壁装材、産業用ターポリン等が堅調に推移し、加えて、前連結会計年度にクロス販売会社を子会社化したことも売上に寄与し、売上高は前年同四半期比で上回りました。利益面では燃料費、原材料費の動向により苦戦し、連結ベースで別記のような結果となりました。

後半期の当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が予想されますが、原価低減活動を推し進め、お客様がもとめる製品を、他社が真似できない独自の技術で開発することによって、経営体質の強化に努めてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長

大石 義夫

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19(新御成門ビル) TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	8,504千株
社員数	グループ合計1,360名
営業所/事業所 (グループ含む)	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、シンガポール、米国、 タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ
工場 (グループ含む)	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 シンガポール、タイ、韓国、インドネシア、チロ
関連会社	国内7社、海外11社
主要商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文具紙工用品クロス</li> <li>●壁装材</li> <li>●出版用クロス</li> <li>●カーペット</li> <li>●プリンターリボン</li> <li>●自動車内装用資材</li> <li>●銀行通帳用クロス</li> <li>●各種フィルター</li> <li>●フィルムコーティング製品</li> <li>●不織布</li> <li>●磁気関連製品</li> <li>●産業用ターポリン</li> <li>●表示ラベル用素材</li> <li>●接着芯地</li> <li>●名刺プリンタ</li> <li>●各種ファンシー商品</li> <li>●靴脱し吸水分離シート</li> <li>●食品包装材料</li> <li>●バッグ用フィルム加工</li> <li>●紙管紙器</li> </ul>

役員 (2019年10月1日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義夫
常務取締役	河野秀仁
常務取締役	市川藤司
常務取締役	遠藤浩博
取締役	木村博正
取締役	北澤圭一
取締役	小澤雅明
取締役	佐々木範伸
取締役	山田英正
取締役	辻嶋次茂
常勤監査役	川崎信之
監査役	本倉英司
監査役	川辺雅也

注1. 取締役辻正次、川崎茂の両氏は社外取締役、また監査役角倉英司、川辺雅也の両氏は社外監査役であります。  
注2. 常勤監査役竹内祥兼氏が、2019年10月1日に逝去され、同日をもって監査役を退任いたしました。当社監査役は3名(うち社外監査役2名)となりますが、法令および定款に定める監査役の員数を満たしております。

## 経営の実績 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、米中貿易摩擦に伴う外需の落ち込み等、製造業を中心に景況感が悪化しており、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、売上高は20,420百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が447百万円（前年同四半期比2.1%増）、経常利益が523百万円（前年同四半期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は231百万円（前年同四半期比38.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

### ■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、出版・文具用途では紙クロス・布クロスは子会社化したクロス販売会社の影響で前年同四半期比増となりました。布クロスは、通帳の販売が低調でありましたが、文具の新製品等でカバーし前年同四半期比増に転じました。

一方で、文具用途のレザー製品は海外向けの受注が低調で前年同四半期比減となりました。また、産業用の品質表示用ラベルは全般的に低調で、前年同四半期比減となりました。

印字媒体においては、主力のラベル等の印字用熱転写リボンには主に海外販売が堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は8,783百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は497百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

### ■住生活環境関連事業

壁装材は、量販品が堅調に推移し前年同四半期比増となりました。

不織布は、住宅資材が低調で、前年同四半期比減となりました。

インテリアは、東京オリンピックに向けて一部展示場が閉鎖となった影響で前年同四半期比減となりましたが、展示会開催の回数増加と受注件数の増加でほぼ前年同四半期並みの売上となりました。

産業用ターポリンは、コンテナ、トンネル工事用の送風管等が堅調に推移し前年同四半期比増となりました。

衣料用芯地は、特に海外販売での落ち込みが大きく、前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,908百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は167百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

### ■包材関連事業

食品包材・蓋材は、国内・海外向けとも堅調に推移しましたが、海外向けで出荷時期の月ズレがあり僅かに前年同四半期比減となりました。

食品鮮度保持剤は、国内・海外とも堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は、当第2四半期に入って売上が回復してきましたが、前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,366百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益は206百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

### ■その他

商品運送は、受注を選別したことなどから、前年同四半期比減となりました。

ファンシー商品は、ノート・手帳類が堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

その結果、売上高は1,944百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益は59百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

## 通期の見通し

下半期の経営環境は依然として不透明な状況が予想されますが、当社グループにおいては、通期でのグループ業績見通しは大きく変動しないものと考えており、以下のとおり見込んでおります。

			連 結 (対前年比)	
			百万円	%
売	上	高	41,000	( 1.4)
営	業	利 益	1,250	( 24.8)
経	常	利 益	1,350	( 25.8)
親会社株主に帰属する当期純利益			900	( 25.6)

# 財務諸表の概要 (連結)

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

### ■資産の部

科 目	前 期 2019年3月31日現在	当第2四半期 2019年9月30日現在
<b>流動資産</b>	<b>23,094</b>	<b>23,420</b>
現金及び預金	3,387	3,669
受取手形及び売掛金	8,522	8,136
電子記録債権	3,141	3,550
たな卸資産	7,599	7,496
その他の流動資産	527	648
貸倒引当金	△82	△79
<b>固定資産</b>	<b>31,493</b>	<b>30,451</b>
有形固定資産	20,057	20,261
建物及び構築物	5,274	5,344
機械装置及び運搬具	3,801	3,725
土地	10,204	10,204
その他の有形固定資産	778	988
無形固定資産	145	128
投資その他の資産	11,291	10,062
投資有価証券	7,903	6,740
繰延税金資産	160	166
その他の投資	3,269	3,197
貸倒引当金	△41	△41
<b>資産合計</b>	<b>54,587</b>	<b>53,871</b>

### ■負債の部

科 目	前 期 2019年3月31日現在	当第2四半期 2019年9月30日現在
<b>流動負債</b>	<b>23,506</b>	<b>23,920</b>
支払手形及び買掛金	9,251	7,594
短期借入金	12,339	14,395
未払法人税等	87	153
設備関係支払手形	432	350
その他の流動負債	1,397	1,428
<b>固定負債</b>	<b>10,887</b>	<b>10,476</b>
長期借入金	5,926	5,662
退職給付に係る負債	1,527	1,430
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
その他の固定負債	2,135	2,085
<b>負債合計</b>	<b>34,393</b>	<b>34,396</b>

### ■純資産の部

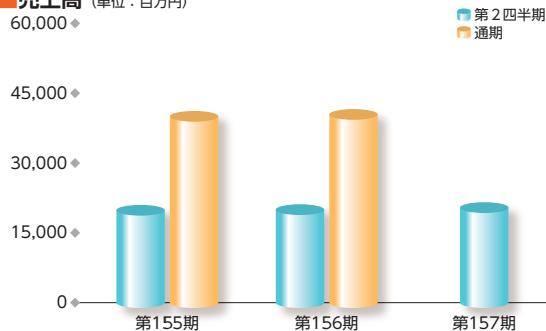
科 目	前 期 2019年3月31日現在	当第2四半期 2019年9月30日現在
<b>株主資本</b>	<b>14,871</b>	<b>14,890</b>
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	8,163	8,182
自己株式	△33	△33
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>5,052</b>	<b>4,325</b>
その他有価証券評価差額金	2,622	1,938
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	△274	△323
退職給付に係る調整累計額	△95	△89
<b>非支配株主持分</b>	<b>271</b>	<b>260</b>
<b>純資産合計</b>	<b>20,194</b>	<b>19,475</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>54,587</b>	<b>53,871</b>

## ■ 四半期連結損益計算書

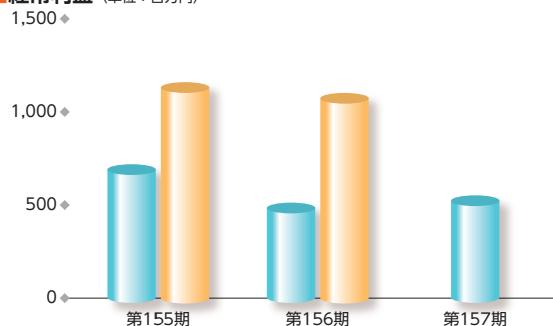
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
売上高	19,967	20,420
売上原価	16,311	16,684
売上総利益	3,656	3,736
販売費及び一般管理費	3,219	3,289
営業利益	437	447
営業外収益	289	275
営業外費用	242	199
経常利益	484	523
特別利益	23	0
特別損失	19	192
税金等調整前四半期純利益	488	331
法人税等	168	112
四半期純利益	320	219
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△53	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	373	231

## ■ 売上高 (単位：百万円)



## ■ 経常利益 (単位：百万円)

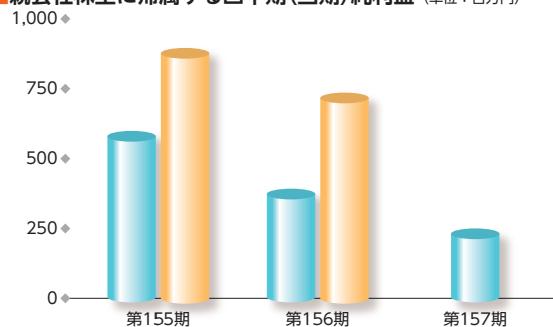


## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	283	△585
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384	△714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40	1,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	△30
現金及び現金同等物の増減額	△170	229
現金及び現金同等物の期首残高	3,366	3,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,196	3,312

## ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



## ●手帳表紙の裏素材に当社製不織布が採用

大手手帳メーカーが販売する2020年度版1月始まりの手帳に当社製のカラー不織布「カラーシート1200 ワイン」が使用されています。

カラーシートは主に贈答用ハム等の中敷き材として使われていますが、今回は深みのある色合いとクッション性が評価され、手帳表紙の裏素材として採用されました。



手帳の裏素材にカラーシート1200を使用

## ●国際文具・紙製品展ISOTに出展

2019年6月26日（水）から28日（金）、東京ビッグサイトにて開催された国際文具・紙製品展（通称：ISOT）に海外グループ会社のTPCNIC CO.,LTD.と共同出展し、当社製クロスを使用したアルバム等の文具製品や、インクジェット不織布「Lifetone」並びに、TPCNICの親会社であるTPC社製の車輻用不織布を使用したノートカバーや鞆等を展示しました。

車輻内装材と文具紙工品のコラボが話題を呼び多くの来場者でにぎわいました。



当社ブース

## ●DYNIC (UK) LTD. がラベルEXPOに出展

2019年9月24日（火）から27日（金）に、ベルギーのブリュッセルで開催されたラベルEXPOに、海外グループ会社のDYNIC(UK)LTD.が出展しました。

展示会では衣料用ラベルをはじめリネン用途、インクジェット対応等ラベルに併せてその用途に対応する熱転写リボンを展示。

新規引合い、サンプル要望等盛況の中閉幕しました。



DYNIC(UK)LTD.ブース

## ●ダイニック歴史資料室を開設

当社の創立100周年を記念して、滋賀工場の天究館内にダイニック歴史資料室を開設しました。年代順に見本帳や資料、写真を展示して、当社製品の開発の歴史をご紹介します。

昭和初期のブッククロスや壁紙の見本帳の他、戦後間もない頃に使用された当社クロス製のドラム等の貴重な資料も多数展示しております。



ダイニック歴史資料室

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	
定時株主総会	3月31日
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店 舗）でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。

上場証券取引所	東京
証券コード	3551
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://www.dynic.co.jp">http://www.dynic.co.jp</a> ) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



〒105-0004  
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)  
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。